

監督・指揮・ソリスト

音楽監督 ヴァイオラ 兎束 俊之	東京藝術大学卒業。在学中に安宅賞受賞。卒業と同時にNHK交響楽団入団。1968年西ドイツ政府給費で渡独。バイエルン放送オーケストラ、ベートーヴェンハレ・オーケストラ首席ヴァイオラ奏者を歴任。1975年ポルドー国際音楽祭ソロ部門にて銀賞受賞。1977年帰国後、国際コンクール審査員歴任。国内のみならず、海外の著名な演奏家との共演も多い。東京音楽大学、東京藝術大学、愛知県立芸術大学、昭和音楽大学、くらしき作陽大学の教授、東京音楽大学学長を歴任。2023年、20年に渡る「アンサンブル信州 in 宮田」の活動により地域へのクラシック音楽文化を伝え広めた功績に宮田村村民栄誉賞を授与された。現在、東京音楽大学名誉教授。宮田村ふるさと大使。東京南ロータリークラブ会員。
指揮 河上 隆介	東京都出身。成城大学法学部を卒業後、東京音楽大学指揮専攻を卒業。2018年、第2回アンタル・ドラティ国際指揮者コンクールで第2位及び特別賞を受賞。2020年、ブダペスト MAV 交響楽団 2020-2021 シーズンの演奏会を指揮した。指揮を広上淳一、三河正典、汐澤安彦、時任康文、小林研一郎の各氏に師事。これまで仙台フィルハーモニー管弦楽団、アンサンブル・ノーヴァ等を指揮。現在、東京音楽大学指揮専攻助教。
ヴァイオリン コンサートマスター (ソリスト) 戸澤 哲夫	東京藝術大学を経て同大学院を修了。大学院在学中の1995年より東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団コンサートマスター。これまでに東京シティ・フィルをはじめ東京フィル、仙台フィル、日本センチュリー響、広島響などと共演を重ねる。98年ベルリンに留学、ライナー・クスマウルのもとで研鑽を積む。帰国後の2001年にメンバーとなったモルゴア・クアルテットにて、アリオン賞、佐川吉男音楽賞奨励賞、JXTG音楽賞本賞を受賞。
ピアノ (ソリスト) 石井 克典	国内外のオーケストラで協奏曲のソリストを務め、近年では、欧米、アジア各国での国際音楽祭等に招聘され、リサイタル、マスタークラス等を行う。カリフォルニア国際コンクール(米)、アセアン・シヨパン国際ピアノコンクール(マレーシア)、日本音楽コンクール等審査員。浜松国際ピアノコンクール運営委員、専門委員を歴任。 現在、東京音楽大学教授 <CD:愛の言葉(OVCT-00133) シューベルト:即興曲&ムソルグスキー:展覧会の絵(SONARE1002)>
チェロ (ソリスト) D. フェイギン	モスクワに生まれる。モスクワ音楽院大学院卒業。在学中からロシア国内外でソロ及び室内楽での演奏活動を始め。今までにロシア及び日本でのコンクールにて数々の賞を受賞。2003年来日し、今までに小林研一郎、広上淳一などの指揮者と日本のオーケストラで共演する。近年は、コンクールの審査員も務める。 現在、東京音楽大学教授。日本国内外で演奏活動を行っている。
ファゴット (ソリスト) 保崎 佑	東京音楽大学大学院音楽研究科博士後期課程を首席総代で修了。博士論文での研究が極めて学術性の高いものされ、優秀賞を受賞し日本初となるファゴットでの博士号を取得する。その後も同大学アーティスト・ディプロマコースの特別特待奨学生として研鑽を積む。在学中に瀬木芸術財団、ドイツ学術交流会の奨学生としてベルリンへ留学。第21回東京音楽コンクール第1位及び聴衆賞、第31回宝塚ベガ音楽コンクール第2位受賞。ソリストとして国内のプロオーケストラと共演している。博士(音楽)